

保護者様

船橋市立高根台第二小学校

校長 新田 真理子

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

新春の候、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動にご支援、ご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、本日は令和7年4月に実施しました、全国学力・学習状況調査の結果について公開いたします。なお、調査の結果は児童の学力全てや教育活動の全てを計るものではありません。調査の結果は学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一面であることを申し添えます。

1, 教科の調査結果に見られる特徴と現状分析

国 語	①全体の結果は、千葉県の数値を約5ポイント上回っていること。 ②【情報の扱い方に関する事項】【A 離すこと・聞くこと】【B 書くこと】【C 読むこと】の正答率が高く、優れていること。 上記の2点以外には、全国の数値と見比べると【言葉の特徴や使い方に関する事項】と【短答式】のみ、若干低くなっていることが課題の1つにあげられる。
算 数	①全体の結果は、千葉県の平均値を3ポイント程度上回っていること。 ②【C 測定】【C 変化と関係】の正答率が高くなっていること。 上記の2点以外には、全国の数値と見比べても全ての項目で上回っており、問題形式についても同様に全ての項目で全国の数値を上回っていることが大きな成果といえる。
理 科	①全体の結果は、千葉県の平均値を3ポイントほど上回っていること。 ②【A「エネルギー」を柱とする領域】の正答率が高くなっていること。 上記、2点以外には、すべての領域で千葉県の数値を上回っていることが特徴といえる。しかし、【記述式】の問題の回答形式が低くなっている点は、検証の必要性を感じている。

2, 児童質問紙調査の結果と考察

児童質問紙調査の結果と考察
児童質問調査の結果については、ほぼすべての項目で全国値同等以上の結果となっている。特に、近年本校が力を入れてきた【ICTの活用した学習状況】については、数値の向上が見られた。これらは、以下の要因が考えられる。 ①国語科・算数科における学習意欲の向上に向けた授業作りの実践を進めた成果が現れてきた。 ②教科学習以外でもICTを活用する場面を多く取り入れたことにより、ICTを活用する素地が育ってきた。 ③地域の教育に対する関心の高さとよりよい生活習慣の定着がはかられてきた。 また、算数科に関する意欲や活動が千葉県の値よりも若干、低くなっているが全体の項目においては、バランスがとれており、児童の学習状況は良好だといえる。次年度以降も継続的な向上をめざした環境作りに努めていきたい。

3, 今後の教育活動について

今後の教育活動について
今後の目標として大きく2点が挙げられる。 ①学習に関する意識の向上をめざした授業作りを基に、学力の向上に努める。 ②国語科・算数科における全体のボトムアップを目指す。また、国語科における【言葉の特徴や使い方に関する事項】の指導の充実を目指す。 《校内での取り組み》 ①校内で分析結果の共有と改善目標の共通理解を図り、「学力向上」のための授業作りに取り組む。 ②学校全体で年度内に【言葉の特徴や使い方に関する事項】の関連指導項目を検討する。 ③算数科の授業改善を行う。昨年度より改善が見られた算数科の【C 変化と関係】について、学習状況を振り返り、効果的だったと思われる実践について継続的な指導ができる体制を整えていく。